



みやぎ

— 83号 —



発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院
 発行責任者 広報委員長 稲木 涼子
 〒989-2202
 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

患者さま・ご家族さま、地域のみなさまに安心してご利用いただける病院をめざして

事務部長 山本 等

○身体障害者専用出入口のインターフォン設置について

広報みやぎ79号（令和5年7月号）にて、「身体障害者専用駐車スペース」のご利用についてお知らせいたしましたが、さらに利便性を図るため身体障害者専用駐車側にある「身体障害者専用出入口」から直接院内に入ることができるよう、インターフォンを設置しております。車いす等の患者さまは正面玄関へ回らなくても、インターフォンでお知らせいただければ、職員がドアを開けますのでぜひご利用ください。



こちらが身体障害者専用出入口になります

インターフォンが設置されました



御用の際は右のインターフォンを押してください。

○受診の際は、マイナンバーカードを

当院もマイナンバーカードを用いた資格確認（以下「マイナ保険証」という）を行っております。

マイナ保険証には様々なメリットがありますのでいくつかご紹介します。

- ①マイナ保険証を利用することで、ご自身の過去の薬剤情報・医療情報を医師等に共有、データに基づくより良い医療が受けられます。
- ②手続きなしで高額医療の限度額を超えた支払が免除されます。
- ③医療費を20円節約でき、自己負担も減ります。
- ④マイナポータルで確定申告時に医療費控除が簡単にできます。

などです。また、現行の健康保険証は2024(令和6)年12月2日に新規発行が終了する（資格確認書）が無償交付される予定）とのことですので、ぜひ様々なメリットがあるマイナ保険証の利用をご検討ください。

保険証の代わりにマイナンバーカードで
マイナ受付

マイナンバーカードが
 保険証として
 使えます。



【基本理念】 『良い医療を安全に、心をこめて』

【行動理念】

- 1、私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
- 2、私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
- 3、私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々への質の高い医療の提供及び疾病予防、健康増進に貢献します。
- 4、私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
- 5、私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
- 6、私たちは健康で明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコット

キャラクター

「みやべりー」

宮城病院
 インスタグラム



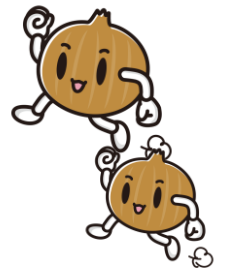
※読み取ってください

玉ねぎリレーマラソンに参加してました！

5月26日、岩沼市の千年希望の丘相野釜公園で看護部、リハ科、療育指導室合わせて11名で参加してきました。1周1050mを文字通り他職種連携でタスキをつなぎ、42.195kmを4時間で完走しました。結果は職場の部 11組中9位と記憶には残る順位でしたが、玉ねぎを合計97個もゲットできたので大満足でした。翌日以降の筋肉痛も良い思い出です。

さて、宮城病院リレーマラソン部では、来る11月9日～10日に予定されている仙台リレーマラソンに参加予定です。興味のある方は、リハ科中山、看護部小田木に声をかけてください。走れなくても大丈夫、私たちと心地よい汗を流してみませんか？

(作業療法士長 中山 崇)



参加したメンバーで記念写真！

永年勤続表彰

春うららかな日、今年度の永年勤続表彰伝達式が2回にわたり執り行われました。今年度は永年勤続30年以上が5名、20年以上が7名の表彰で、院長よりお一人ずつ表彰状と記念品が授与されました。

健康に留意し、家族の支えがあつての永年勤続であり、今後の更なる活躍に期待を込めた院長先生からの式辞がありました。

受彰されました皆様、おめでとうございます。

(庶務係長 小原 有里)



受賞者の皆さん

地域医療連携室の新メンバーの紹介と連携室の役割について

地域医療連携室の主な役割は「患者さんが医療や介護を切れ目なく受けることができるよう、当院と地域をつなぐこと」と「患者さん・家族の心配事や不安を軽減することができるようお手伝いすること」です。

具体的には、当院に紹介となった患者さんや、当院から他院へ紹介となった患者さんの受診や転院の調整をしたり、介護が必要な患者さんには、情報を提供しながら、介護・福祉サービス事業所との橋渡しをして、必要な介護サービスを受けられるよう支援しています。また、「病気や治療、受診」「入院費用や医療費などの経済面」「難病や障害者手帳の申請」についてなど、多分野の相談を受け付けています。

気になることがありましたら、地域医療連携室・医療相談室にお気軽にご相談ください。お電話でも対応いたします。

(看護師長・地域医療連携係長 菊地 操子)

昨年9月から地域医療連携室の事務員として勤務しています宮城と申します。主に脳神経内科の新患の予約や電話相談を担当者につなぐのが主な業務となっています。医療系の事務として勤務するのは初めてですが、少しでも不安や悩みが少なく病院受診や相談につながるよう努めていきますので、よろしくお願いします。

宮城 芳恵



栄養管理室

今年度は新たなメンバーで栄養管理室を運営いたします。安全でおいしい食事の提供を目標に、患者さんに喜んでいただける献立作成と提供を心がけています。食事のほかにもわかりやすい栄養指導、季節感を感じてもらえる栄養管理室前の掲示板と工夫をいたしますので楽しんでください。病棟にも栄養士が積極的に出向きますのでお気軽にお声がけください。よろしくお願いいたします。

(栄養管理室長 小山内 弥生)

掲示板の様子



栄養管理室のメンバーで



職場紹介

臨床検査科

検査科は現在5名のスタッフで日々の検査を担っています。数年前の大きな地震により検査科は2階から1階へと引っ越しとなり部屋は新しく改装されたものの少々狭くなってしまいました。検査科の仕事は主に検体検査、生理検査、細菌検査（COVID19 PCR検査を含む）に分業されています。今年度は生化学と免疫の機器が更新され自動搬送機付きの生化学・免疫一体型の機器が6月に導入され順調に稼働しています。検査科は、常に臨床へ迅速で正確・精密な検査データを提供できるよう日々努めています。



(臨床検査技師長 渡邊 拓之)

自動搬送機付きの生化学・免疫一体型の機器

職場紹介

放射線科

放射線科では、X線撮影・ポータブル撮影・X線透視撮影・CT・MRI・核医学検査・骨密度検査の業務を主に行っています。また、歯科外来から依頼されるデンタル・パノラマ撮影も行っています。放射線の検査は被ばくを伴うため、被ばく線量の管理や安全性に十分注意を払って検査に対応しています。

CT装置についてですが、老朽化に伴い昨年6月に上級グレードの装置に更新され、以前と比べてより多くの画像情報を短時間で提供できるようになりました。今年度は、核医学装置とデンタル撮影装置の更新が予定されており、更に良質な画像を提供できるようにしていきたいと思えます。

また、当院では近隣の医療施設から、CT・MRI・核医学検査・骨密度検査の契約撮影(共同利用)を請け負っており、依頼に応じた検査結果を提供しています。この他にも、当院では東北で唯一MRガイド下収束



去年6月に更新したX線CT装置

超音波治療(FUS)を行っており、放射線科においてもMRIを使用した手術の支援・術前術後の精度管理・術後のフォローアップなどに携わっています。

4月より仙台医療センターから新たに副診療放射線技師長を迎え、6名体制で放射線科の検査を行っています。今後も、宮城病院の基本理念「よい医療を安全に、心をこめて」を念頭に置きながら放射線業務に取り組んでまいりたいと思えます。

(診療放射線技師長 佐藤 正信)



5月29日に新採用者リフレッシュ研修を行いました。当日は降水確率が高く病院全体を外から見て感じるの難しいのではとの心配をよそに、晴天に恵まれ、研修生8名と看護師長2名同行し、「宮城病院の理念の再発掘」に出かけました。合戦原古墳公園や山元支援学校、山元町民体育館、そしてあすなろ親の家など長年宮城病院と密接な関係のある施設を歩いてみて回りながら、「良い医療を安全に心をこめて」の病院理念を深めるのに十分なディスカッションをすることができました。自然がいっぱいの宮城病院の環境を自分達の足で探索し、同期職員とのグループワークは笑顔がいっぱいで、「今後の活力を養うことができた」等の意見もたくさんあり、素敵なリフレッシュ研修になりました。

(地域医療連携室 看護師長 菊地操子)



ふれあい看護週間

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日は「看護の日」といわれており、看護週間とは看護及び看護職に対する理解を深めるとともに、看護体験や保健相談などが実施され、看護に対する意識向上を図るイベントです。

当院では、前年度までコロナウイルス感染症の流行に伴い、院内で看護のアピールを行ってきました。今年度は、副看護師長会の人材育成プロジェクトチームでイベントの内容を企画し、「ふれあい看護体験」「中学校職場体験学習」を通し、院外の方々と交流を深めました。

2つのイベントを通し参加したのは、看護師に憧れ、興味を持っている中学生、高校生の学生さん達でした。学生さんからは、実際に白衣を着用すると「カッコいい」「本当に看護師になった気持ち」等と声が聞かれ、きらきらとした表情が見られました。また、入院患者さんとお散歩や清潔介助の関わりにより、看護師の仕事や看護の魅力について知るきっかけになったと思います。

この体験が看護師を目指す後押しになることを願っています。

(地域医療連携室 副看護師長 作間 智美)



2024 宮城病院



★リハビリ★



★事務部★



最優秀賞

★薬剤部★



★看護部長室★



★地連・指導室★



★中央3階病棟★



★訪問看護★



★歯科外来★



★中央2階病棟★



七夕飾りコンテスト



★栄養管理室★



★放射線科★



★外来★



★手術室★



★南a病棟★



★中央4階病棟★



★中央1階病棟★



★検査科★



診療案内

令和6年8月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	宮本 達夫	中村 貴彬 (新患のみ) 船山 由希乃 (第1・3・5)	宮澤 康一 (新患・再来)	松本 有史	齋藤 早紀 (第1・3・5) 金子 仁彦 (第2・4)
	再来	中村 貴彬	梅澤 周 (第2・4)	松本 有史	宮本 達夫	
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	伊藤 辰徳	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齊藤 秀行		伊藤 辰徳		菊地 章子
循環器内科	午前			加藤 浩	東北大学病院から	
	午後	東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科			佐野 寛仁			
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前	八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後		(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科				館 一史		澤村 武 齋藤 香奈 (通替わり 13:30~15:30)
皮膚科	午前				東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一 (不定期)			
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来 (予約制)	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ふるえ外来	脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来				医科薬科大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後				公済病院から (第1・3週)
入れ歯外来			白石 成		重光 竜二	

受診される方へ

①受付時間は8:30~11:00です。

②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始

(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、急患の方は随時受付いたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2750円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、

国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線山元IC下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。

(詳しくはお問い合わせください)

